大学生有望選手リスト<200名>

●リスト作成
『野球太郎』有望選手リスト作成委員会

※項目は左より、大学名、ポジション、名前、学年、出身校、身長、体重、投打、評価（P.281 参照）、寸評の順になっています。

北海道学生リーグ										
東農大北海道	投手	井口	和朋	4年	武相	175	73	右右	○	140キロ台の直球に変化球を織り交ぜ、明治神宮大会で名を上げた。投げっぷり◎
札幌学生リーグ										
道都大	投手	金澤	一希	4年	旭川龍谷	178	76	左左	◎	145キロ前後のストレートも体の強さを考えるとまだ伸びそう。スクリューも面白い
	左翼手	須貝	祐介	4年	旭川南	170	72	左左	○	小柄ながらパンチ力があり、広角に大きな打球を打つ。守備、走塁ともに高水準
北海学園大	投手	川越	誠司	4年	北海	176	77	左左	○	札幌学生連盟の話題を独占か。投げて150キロ左腕、打っても4番で走力も魅力
北海道大	捕手	中田	和志	4年	川和	174	76	右右	△	秀才軍団の司令塔。思い切りのいい強打で昨秋堂々ベストナイン。北大旋風なるか
北東北大学リーグ										
富士大	投手	多和田真三郎		4年	中部商	182	80	右右	◎	昨秋の明治神宮大会で自己最速を更新する151キロを記録。重心の低いフォームが特徴的
		吉田	将太	4年	鵡川	186	86	右右	△	恵まれた体格から投げ下ろすカットボールが武器。2年春の選手権では完封も記録
		小野	泰己	3年	折尾愛真	183	73	右右	○	しなやかで思いきりの良い腕の振りから放たれるストレートは、岸孝之を彷彿とさせる
	三塁手	久保	皓史	4年	佐賀商	180	77	右左	○	1年春からレギュラーで、大事な試合こそ活躍する勝負強さ。ミート力と長打力が光る
八戸学院大	投手	尾山	将悟	4年	北海学園札幌	185	80	右左	△	公式戦で無安打無得点も達成している最速147キロ右腕。制球力を上げて春を迎えたい
仙台六大学リーグ										
仙台大	投手	熊原	健人	4年	柴田	178	76	右右	◎	最速152キロの直球にフォークが冴える右腕。21U日本代表を経験し、さらにレベルアップ
	三塁手	松本桃太郎		3年	北海	175	67	左左	△	仙台六大学リーグで1年時からMVPを含む、数々の打撃タイトルを獲得する好打者
東北学院大	投手	本田	圭佑	4年	東北学院	179	81	右右	△	多彩な変化球と伸びのある直球が魅力。名前先行もプロとの交流戦で好投し、実力も◎
東北福祉大	投手	城間	竜兵	3年	光星学院	172	70	右右	△	高校時代は野手兼投手だったが、大学から投手に専念。制球力が抜群で「勝てる」投手
	捕手	長坂	拳弥	3年	健大高崎	175	75	右右	△	高校時代からプロ注目の強肩捕手。ハツラツとしたプレーでレギュラーとして期待される
	右翼手	鈴木	光	4年	会津	168	67	左左	△	2年秋から3季連続で仙台六大学リーグの盗塁王。力負けせず、打率も残せるように
南東北大学リーグ										
東北公益文科大	投手	會田隆一郎		3年	酒田南	184	86	右右	△	高校1年から注目されるも、イップスを発症し不完全燃焼。大学で復活を遂げている
日大工学部	投手	矢口	雅人	3年	文星芸大付	173	63	左左	△	直球のスピードはないが、4種類の変化球を織り交ぜ、打者のタイミングを外すのが上手い
東日本国際大	中堅手	米倉	翔太	3年	東日本国際大昌平	171	74	右右	△	体格のわりにスピードがあり、長打も打てる好打者。打点を稼げるようになると面白い
千葉県大学リーグ										
国際武道大	投手	鈴木	康平	4年	千葉明徳	185	74	右右	○	恵まれた体格と最速148キロのストレートが武器の素材型。故障癒えた今季に飛躍したい
	中堅手	服部	創太	2年	東海大相模	179	73	右右	△	1年春からレギュラー掴むと、20安打でベストナインに。走攻守揃い長打力もある
城西国際大	投手	米谷	真一	4年	駿台学園	177	70	右右	○	サイドから140キロ近いストレートを制球良く投げ分ける。元・子役という異色の経歴
	捕手	宇佐見真吾		4年	市柏	180	87	右左	○	二塁送球2秒を切る強肩に、逆方向に長打が打てる力強い打撃。ユニバ日本代表候補
	二塁手	廣岡	翔太	4年	花咲徳栄	170	71	左左	△	小柄ながらパンチ力があり、3年秋は4本塁打14打点の大活躍。俊足や好守も光る
	三塁手	本藤	光貴	4年	西条	186	82	右右	△	2年秋に打率.488、2本塁打12打点でリーグ三冠王。相手の厳しいマークを打ち破りたい
中央学院大	投手	臼井	浩	3年	光明学園相模原	168	73	右右	△	スライダーを中心に、制球力があり、どんどんストライクで勝負できる。スタミナも十分
関甲新学生リーグ										
上武大	投手	鈴木	稜也	3年	拓大紅陵	187	80	右右	△	1年春の選手権準々決勝で無四球完封を果たす制球力と精神力が自慢の大型サイドハンド
		山下	仁	3年	須磨翔風	178	72	右右	○	昨秋の関東大会で一気にブレイク。ストレートと変化球を低めに集める制球力が光る
	三塁手	鳥巣	誉議	2年	久留米商	177	72	左左	○	1年春に.414、秋に.368の高打率を残すシュアな打撃が持ち味。守備もソツなくこなす
	右翼手	中	稔真	4年	須磨翔風	183	82	右左	△	長打力溢れる打撃で、2年春の選手権では2本塁打を放ち日本一に貢献。今季は主将
常磐大	投手	吉田慶司郎		4年	仙台育英	190	83	右右	○	実績はほぼ皆無ながら複数球団が注目する大型右腕。球速も140キロ台中盤にまで成長
新潟医療福祉大	投手	笠原祥太郎		3年	新津	177	78	左左	△	野球部1期生で創設時からチームを牽引。145キロまでアップした直球で社会人相手に好投
白鷗大	投手	中塚	駿太	3年	つくば秀英	188	85	右右	○	まだ粗削りだが、秋季関東大会で恵まれた体格から150キロ台の豪速球を連発した
		今村	暁人	2年	久留米商	176	70	右右	○	高3春の春季九州大会優勝投手。大学1年秋のリーグ戦でも安定感抜群の投球を見せた
	三塁手	大山	悠輔	3年	つくば秀英	180	80	右右	○	1年時から主力として活躍。力強くクセのない打撃に、強肩生かした三塁守備も光る
山梨学院大	投手	松尾	勇太	4年	米子西	180	78	右右	△	昨春にチームを初の全国大会に導いた技巧派右腕。制球力が高く、緩急も上手く使える
東京新大学リーグ										
杏林大	投手	山田	修平	4年	東海大翔洋	173	65	右右	△	試合の中でフォームを変幻自在に変える変則右腕。昨秋はリーグ最多勝&最優秀投手に
創価大	投手	小松	貴志	4年	創価	174	78	右右	○	全身を使った大きなフォームで、一度浮き上がってからドロンと落ちるカーブが出色
		秋元	秀明	3年	三浦学苑	185	84	右右	○	高校時からプロ注目の右腕。ストレートの勢いに加え、安定した投球術を身につけたい
		池田	隆英	3年	創価	180	80	右右	○	高校時に負った故障のリハビリで出遅れるも、昨秋の明治神宮大会で150キロ台を連発
		田中	正義	3年	創価	186	89	右右	◎	最速154キロのストレートは現アマ球界最速。早くも2016ドラフトの目玉と言える存在
	遊撃手	花本	太紀	4年	東大阪大柏原	176	73	右右	○	高校時には藤浪を破り甲子園出場。職人肌の守備とパンチ力も秘めた打撃が持ち味
流通経済大	投手	生田目	翼	3年	水戸工	174	76	右右	○	闘志むき出しで投げるスタイルで、150キロ近いストレートが武器。腕が遅れて出てくる
東京六大学リーグ										
慶應義塾大	投手	加藤	拓也	3年	慶應義塾	175	80	右右	○	全身に滾るパワーでミットを突き抜くような剛腕。制球力を磨いてワンランク上の投手へ
	三塁手	横尾	俊建	4年	日大三	175	86	右右	○	村田修一（巨）の雰囲気が一気に増す。一発が期待されるが、意識は打点王を狙ってほしい
	右翼手	谷田	成吾	4年	慶應義塾	183	86	右右	○	昨年は春秋で7本塁打、待ち焦がれた大砲が本領発揮。広角に本塁打が打てるのが強み
東京大	投手	吉川慶太郎		3年	城北	172	70	右右	△	抜きのいいスローカーブを生かした緩急で、昨秋は防御率0.00で一時ランキングトップに
法政大	遊撃手	佐藤竜一郎		4年	作新学院	181	72	右右	△	懐を深く呼び込んで強い打球を打ち返し、2季連続3割超。守備面でも安定してくれば
	中堅手	畔上	翔	4年	日大三	178	85	左左	○	21U日本代表に選出され、持ち前の広角打法で存在感を示す。マジメな性格でコツコツと
明治大	投手	上原	健太	4年	広陵	190	86	左左	◎	190センチの左腕で、上から振り下ろせる角度はプロでも希少価値。将来性は世代No.1
		星	知弥	3年	宇都宮工	181	85	右右	○	短いイニングなら140キロ後半を連発する快速球とスライダーで三振奪取能力は高い
		柳	裕也	3年	横浜	180	80	右右	◎	投げ下ろすことを意識するフォームになり凄みが増した。年間通して持続できるかが鍵
	捕手	坂本誠志郎		4年	履正社	175	77	右右	○	ここ4季で3度の優勝に日本代表の正捕手。持ち前のリーダーシップで明大黄金期を支える
	中堅手	髙山	俊	4年	日大三	181	84	右左	◎	3年間で100安打を成し遂げた稀代のバットマンだが、もう1つ爆発力があってもいいのでは
	右翼手	海部	大斗	4年	履正社	180	78	右左	△	昨秋、立大1回戦の固め打ちから大逆転優勝を演出。大学野球の壁を乗り越え、飛躍へ
立教大	投手	澤田	圭佑	3年	大阪桐蔭	178	90	右左	◎	1年春から40回以上を投げ、通算防御率1点台というスタミナと完成度。これがエースだ
	遊撃手	大城	滉二	4年	興南	175	71	右右	◎	「率」では明大・髙山以上の安打製造機。さらに単打を二塁打に変える足に守備も華麗
	中堅手	佐藤	拓也	3年	浦和学院	172	75	右右	◎	「センスの塊」と評されるも、昨秋は不調に。これを糧により一層の輝きを放ってほしい
早稲田大	投手	吉永健太朗		4年	日大三	182	80	右右	△	1年春に4勝でデビューも、昨年はついに1勝もできず。あのシンカーをもう一度！
		吉野	和也	3年	日本文理	187	72	右右	△	独特な軌道を持つ長身アンダースロー。昨秋は新人戦の登板に回ったが優勝に貢献した
		大竹耕太郎		2年	済々黌	182	72	左左	△	思い切りのよさで1回戦先発の座を獲得。130キロ台でもキレる直球で打者を詰ませる
	三塁手	茂木栄五郎		4年	桐蔭学園	171	75	右左	◎	昨秋は歴代4位の打率.514で首位打者。流してスタンドに入れるのはパワーではなく技術だ